

トンネル・ライブラリー24 実務者のための山岳トンネルにおける地表面沈下の予測評価と合理的対策工の
 選定
 正 誤 表

頁	行 (図表番号)	誤	正
P222、223	図6.5.1の下(223 ページ冒頭)に、文 章を追加		<p>地表面沈下の計測結果は、施工中に は、図6.5.118)のように時間に対して整 理されることが多い。これは、切羽の進 行や計測データが時間で管理されている ことや、工事の記録として日付と時刻が 重要なためと思われる。この事例では、 地表に7箇所沈下を経時変化で表示し ており、各地点の沈下量比較や、収束状 況の確認ができる。図6.5.219)では、地 中沈下を経時変化を施工過程の各作業と 関連付けして表示している例である。こ のような表示により、どの掘削作業が地 表面沈下に影響を与えているかを把握す ることができる。一方、経時変化で示し たこれらの図のみでは、トンネル切羽の 進行との関係は読み取れない。</p>